

2026年7月1日  
アーバンエナジー株式会社

## 川口市電力地産地消事業を開始 ～廃棄物処理施設の余剰電力を活用した自己託送により 公共施設の脱炭素化に貢献～

JFE エンジニアリング株式会社（以下「JFE エンジニアリング」）が 100%出資する新電力会社のアーバンエナジー株式会社（以下「アーバンエナジー」）は、2026年7月1日より、埼玉県川口市から受託した「川口市電力地産地消事業」の業務を開始しました。

### ■ 事業の概要

本事業は、川口市の一般廃棄物処理施設である戸塚環境センター（日本鋼管株式会社（現 JFE エンジニアリング）製）および朝日環境センターで発電した余剰電力を、一般送配電事業者（東京電力パワーグリッド株式会社）の送配電ネットワークを介して鳩ヶ谷衛生センターほか 2 施設へ自己託送するとともに、自己託送以外の購入電力についても非化石証書を活用し CO<sub>2</sub>排出係数をゼロとして供給することで、公共施設における使用電力の脱炭素化および電力の地産地消を推進するものです。

アーバンエナジーは本事業において、自己託送の実施に必要な各種計画の作成および提出、ならびに計画値同時同量の達成に向けた需給管理を行うとともに、その需給管理状況の分析に基づき、今後の送電対象候補施設の選定およびシミュレーションを担います。

### ■ 事業の主な内容

項目	内容
事業名	川口市電力地産地消事業
発注者	川口市
履行場所	戸塚環境センター、朝日環境センター、鳩ヶ谷衛生センター（埼玉県川口市）
履行期間	2026年7月1日～2030年3月31日
主な業務内容	自己託送に係る需給管理・各種計画作成・提出、非化石証書を活用した実質 CO <sub>2</sub> フリー電力供給
送電スキーム	自己託送 + 非化石証書活用による負荷追従電力供給

### ■ 今後の展開

2026年7月より、需給管理業務を開始するとともに、自己託送の実施に向けた各種手続きを進めてまいります。2027年1月からは、戸塚環境センターおよび朝日環境センターで発電した余剰電力

の鳩ヶ谷衛生センターほか 2 施設への自己託送を開始する予定です。

また、事業開始後は需給管理状況の分析を継続的に実施し、自己託送による電力供給をさらに拡大すべく、追加の送電対象候補施設の選定およびシミュレーションを行ってまいります。2028 年度からは、検討の結果選定された施設への自己託送を追加で実施し、川口市における電力の地産地消と公共施設の脱炭素化のさらなる拡大を予定しております。

## ■ 本事業の取り組みと意義

近年、地方自治体においては公共施設の脱炭素化が喫緊の課題となっており、廃棄物処理施設で生まれる余剰電力の有効活用は、エネルギーの地産地消と温室効果ガス削減の両立を実現する有効な手段として注目されています。

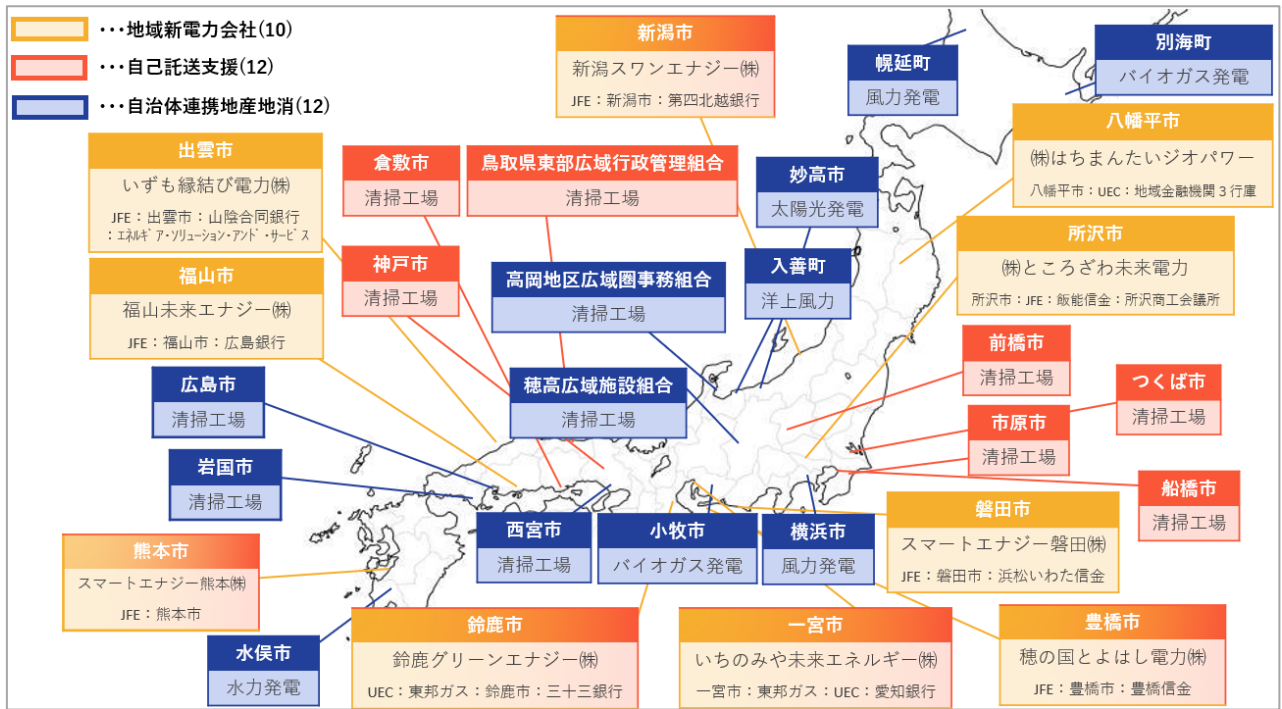
アーバンエナジーは、小売電気事業者として培ってきた電力供給・需給管理のノウハウと、JFE エンジニアリングが有する廃棄物処理・エネルギー分野における豊富な技術・実績を活かし、本事業を通じて川口市の脱炭素化および循環型社会の実現に貢献してまいります。

## ■ JFE グループの電力地産地消事業

この度の川口市電力地産地消事業は、JFE エンジニアリンググループが全国で手がける電力地産地消事業の累計 30 事例目となります。下図に示すとおり、JFE エンジニアリンググループはこれまで全国各地において、10 自治体との共同出資による地域新電力会社の設立及び運営に加え、清掃工場を活用した自治体の自己託送支援や自治体連携による地産地消事業など、多彩なスキームを通じて電力地産地消の普及・拡大をリードしてきました。

新潟市・豊橋市・福山市・熊本市をはじめ、全国各地でのモデルケースを通じて培ってきたノウハウと実績を活かし、このたび川口市において 30 事例目という節目を迎えられたことを大変光栄に思います。今後も JFE エンジニアリンググループは、全国の自治体と連携しながら、電力の地産地消と脱炭素化の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

# 【JFE エンジニアリンググループ電力地産地消事業】



エネルギーの「これから」を、  
ともに、カタチに

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

アーバンエナジー株式会社

Tel045-505-7878